

株式会社ファンケル

代表取締役社長執行役員 宮島和美 新入社員への訓示 「仕事に意義を見出し、新しい風を」

株式会社ファンケル(本社:横浜市中区)の代表取締役社長執行役員 宮島和美(写真:下)は、2008年4月1日午後1時から本社で開催した入社式で、グループの新入社員31人に、以下の通りの訓示を行いましたので、ご報告いたします。



ファンケルによろこそ。今日からは、共に働く仲間です。早く職場になじんで、ファンケルのために頑張ってくださいと思います。

現在の経済情勢は、サブプライムローンの信用不安や原材料価格の上昇の影響で厳しい状況にあり、消費者の財布の紐は固くなっています。今後は、少子高齢化が進行し、簡単には、売り上げを大きく伸ばせません。

こうした中で、当社は「価格志向」から「価値志向」へのシフトを図っています。より良い製品、サービスを提供し、企業価値の向上を図るということです。お客様あってのファンケルという意識で、皆さんも協力して欲しいと思います。

次に、皆さんにまず期待することを4点ほどお話します。1つ目は、「ファンケルの代表である」ということを意識して欲しいということです。今日からは、一個人としてだけではなく、ファンケルの一員として見られます。外部の人は、新入社員だからといって、大目に見てくれる訳ではありません。難しいことを求めている訳ではなく、「当たり前のことを当たり前」「基本に忠実に」に行動すればよいのです。皆さんの行動の一つ一つが、ファンケルのブランドイメージになることを忘れないでください。

2つ目は「新しい風を入れる」です。長く社会で働くと、ともすればマンネリに陥り、周囲に流されたり、問題に疑問を持たなくなってしまうこともあります。我々の当たり前が、果たして、本当にお客様にとって当たり前なのかを気づかせるような新しい風を吹き込んでください。

3つ目は「目の前の仕事に意義を見出す」です。入社後、しばらくは、簡単そうな仕事を頼まれることも多いと思います。しかし、同じ仕事を「つまらなくするか」「価値あるもの」にするかは、どの人の考え方とやり方次第です。例え、簡単な仕事だったとしても、その仕事に付加価値がつくように、常に「創意・工夫・改善」してください。

4つ目は「石の上にも三年」です。一般的には、新入社員で入社後、3年までに3割が転職するといわれています。転職がキャリアとなる風潮も影響しているのでしょう。

しかし、世の中に、自分の好きなことだけをやればいい仕事などありません。世の中で通用する人材というのは、目先の業務にとらわれず広い視野を持って働くことのできる人材です。腰を落ち着けて、スキルを磨き、やがては他社からスカウトの声がかかるような人材になって欲しいと思います。

まずは、健康第一ですから、身体には十分留意してください。また、職場で分からないことは躊躇せず、どんどん先輩に質問してください。さまざまなことを吸収し、良い社会人生活を送れるように頑張ってください。改めて、入社おめでとう！！

以上



代表取締役社長執行役員宮島和美（中央）、代表取締役副社長執行役員田多井毅（宮島の左隣）、専務取締役執行役員成松義文（宮島の右隣）、ほかグループ新入社員31人。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 ファンケル

広報グループ:野田靖

〒231-8528 横浜市中区山下町 89-1 ファンケルビル

電話:045(226)1230 / FAX:045(226)1202